

標 題 : Adherence to Mediterranean Diet and Metabolic Syndrome in BRCA Mutation Carriers  
BRCA 突然変異の保因者における地中海食事の順守とメタボリックシンドローム

---

著 者 : E. Bruno, et al. (イタリア ミラノ Fondazione IRCCS Istituto Nazionale dei Tumori、ミラノ大学)

---

掲 載 誌 : Integr. Cancer Ther. 2018 Mar; 17(1): 153-160

---

要 旨 :

背 景 : BRCA 突然変異の保因者で、インスリン抵抗性は高い乳がんの浸透度と関連する。

メタボリックシンドロームはインスリン抵抗性症候群で、地中海食事を順守することで回復できる。

BRCA 突然変異の保因者の食事介入試験で、「地中海食事順守質問票」からのデータを分析して、地中海食事の順守およびメタボリックシンドロームとの関連を、我々は評価した。

方 法 : 乳がんの有無にかかわらず、18 から 70 歳の BRCA 突然変異の保因者が試験に適格であった。

開始時の検査後に、女性を食事介入群または対照群にランダムに分けた。

両群とも開始時および食事介入の終わりに「地中海食事順守質問票」を完全に記入した。

結 果 : 合計 163 人の女性が 6 ヶ月の食事介入を完了した。

対照と比較して、介入群の女性は赤身肉(P<0.01)および市販の菓子(P<0.01)の摂取を有意に減少させて、「地中海食事順守質問票」スコアを有意に上昇させた (+1.3 対+0.55、P=0.02)。

「地中海食事順守質問票」スコアの順守点数の上昇に伴って、メタボリックシンドローム変数の数値が減少した (P=0.01)。

介入群で、メタボリックシンドロームの大幅な減少と有意な関連があった。

結 論 : 介入群で BRCA 突然変異の保因者は、地中海食事およびメタボリックシンドローム変数に大幅な改善を経験した。

キーワード : BRCA 突然変異の保因者、地中海食事、乳がん、食事介入試験、メタボリックシンドローム

---